

札幌市時計台ホールにて留学成果報告会を兼ねたピアノリサイタルを開催しました



2023年2月、歴史的建造物である札幌市時計台のホールにて、「ほっかいどう未来チャレンジ基金」第4期生としてポーランドにピアノ留学していた北浦由花里さん（文化芸術コース 2021.11月～2022.10月）の留学成果報告会を兼ねたピアノリサイタルを開催しました。

いつもは、大人向けの報告会ですが、今回はピアノリサイタルということもあり、小さなお子様も演奏を楽しんでいる微笑ましい姿もみられました。

ポーランド出身の偉大な作曲家ショパンの曲の演奏に、時計台ホールの歴史的な雰囲気の中、ご参加いただいた約40名を超える皆様が北浦さんのピアノソロやチェリストの高橋さんとの共演に聴き入りました。

最後に北浦さんから、留学を応援していただいた方などへのお礼と「今後は自分の故郷である北海道で若者達への支援に携わりたい」と挨拶があり、温かな拍手の中、終演となりました。

自身の留学経験を道内の高校生へ ～Hokkaido Study Abroad Programで講演～

【Hokkaido Study Abroad Program について】

本事業は、道立高等学校の生徒を北海道大学に派遣し、同大学と留学生との英語による交流や、大学の講義の受講などを通して、英語によるコミュニケーション力の向上や、国際的な視野を育み、海外と積極的に交流する意欲の向上を図るため開催されているもので、毎年、北海道教育委員会の主催で開催されています。



2022年10月に開催された「Hokkaido Study Abroad Program」で第2期生の星野愛花里さん（学生留学コース 2019.1月～12月）が、みらチャレを活用したキルギスでの留学について報告しました。

星野さんは地域農産物の生産・流通についての研究や現地での生活などについて英語で報告しました。また、日本と異なる地域での生活の面白さに触れ、「興味があれば、とにかくやってみることが大事」「留学先としては英語圏が人気だが、非英語圏も文化の違いを感じられ非常に面白い」と話し、参加した高校生は熱心に話に聞き入っていました。

2021年10月にオンラインで開催された「Hokkaido Study Abroad Program」で第3期生の有働篤人さん（学生留学コース 2019.9月～2020.5月）が講師として留学体験を報告しました。

有働さんは、ソフトウェア開発を学ぶため、フィンランドのオウル大学に留学した経験について英語で講演。

参加者からは「今回のプレゼンを聞いて、北欧に留学したくなった。それぞれの国にそれぞれの良さがあることが分かったので、慎重に留学先を選びたい。」「周りにある問題から自分のやりたいことを見つけ、それを留学に活かす考えがすばらしいと思った。私もその問題を見つけるために、まずはアクティブになろうと思った。」などの感想がありました。

